

平成28～令和2年度「スポーツ障害の予防とリハビリテーション実習」  
を受講された皆様へ

順天堂大学大学院  
スポーツ健康科学研究科  
高澤 祐治

順天堂大学スポーツ健康科学研究科研究等倫理委員会の審査を受けて、以下の研究を実施しています。本研究では、平成28年～令和2年度の「スポーツ障害の予防とリハビリテーション実習」の授業内で実施した測定データを利用しています。そのため、下記の研究目的に利用されることを希望しない場合には、下記の連絡先にお問い合わせください。

1. 研究の名称

- 「ロコモ度テストに及ぼす身体特性の検討」

(順大院ス倫第2020-93号、承認日2021年4月5日)

2. 研究の目的

運動器の障害に伴う移動機能の低下をきたした状態をロコモティブシンドローム（ロコモ）と呼びます。ロコモは、ロコモ度テストと呼ばれる【①立ち上がりテスト、②2ステップテスト、③ロコモ25（質問紙）】3つの簡易的な方法で評価され、筋機能を簡便に評価しています。一方で、ロコモの該当者は高齢者だけでなく、若い年代にも存在します。筋力が高い若い年代からロコモに該当するということは、ロコモ度テストは筋力だけでなく他要因も大きく関与していることが考えられます。しかしながら、身体機能や運動習慣などの他要因がロコモ度テストにどの程度影響しているかは不明です。そのため、ロコモ度テストに関与する要因を詳細に検討していくうえで、若い年代を対象に調査を行うことが必要だと考えます。そこで本研究は、ロコモ度テストの結果に影響を及ぼす因子を検討することを目的とします。

3. 研究責任者

順天堂大学スポーツ健康科学部 教授 高澤祐治

4. 研究期間

令和3年4月5日～令和3年12月31日

5. 利用する情報の項目

「スポーツ障害の予防とリハビリテーション実習」で実施した以下の内容となります。

- ・ 身体組成（年齢、身長、体重、性別）
- ・ 競技歴
- ・ 各関節の可動域
- ・ 周囲系、四肢の長さ
- ・ 四肢の機能軸
- ・ 筋、関節のタイトネスやアライメント
- ・ 過去に受傷した外傷、障害について
- ・ ロコモ度テストの結果

#### 6. 情報管理責任者

順天堂大学スポーツ健康科学部 教授 高澤祐治

#### 7. 問い合わせ先

順天堂大学スポーツ健康科学部 教授 高澤祐治

〒270-1695 千葉県印西市平賀学園台 1-1

電 話：0476-98-1001

メール：ytakaza@juntendo.ac.jp